

2018 ISA 世界サーフィン選手権が愛知県田原市に開催決定！



2017年 WSG フランスビアリッツ大会
開会式の様子

平素より(一社)日本サーフィン連盟(以下NSA)の活動にご協力頂き誠にありがとうございます。
このたび、国際サーフィン連盟(ISA)主催の2018 ISA World Surfing Games:世界サーフィン選手権が、来秋9月に愛知県田原市を会場として開催されることが決定いたしました。2017年9月、宮崎県日向市にてVISSLA ISA World Junior Surfing Championshipがアジア初、日本初開催に引き続き、来秋2018年9月に愛知県田原市にて28年ぶりの2018 ISA World Surfing Games (以下、WSG)が開催されます。

また、サーフィン競技は東京2020でオリンピック初採用を予定しております。日本で2018WSGを開催することは、2020年に向けサーフィンファンや選手に、サーフィンが男女平等で公平なスポーツ競技としてとらえられる第一歩として映るように期待します。

このことについて、下記のとおり愛知県田原市で記者会見を実施いたしますのでお知らせいたします。

記

<記者会見概要>

- 日 時 平成29年12月11日(月) 11:00から
- 場 所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室
- 発表内容 2018ISA世界サーフィン選手権の開催について
- 出 席 (一社)日本サーフィン連盟 理事長 酒井厚志
田原市長 山下政良
田原市教育委員会 教育長 花井 隆

予定ですので変更になる場合があります。

※記者会見についての問い合わせ先

- ・日本サーフィン連盟 担当 岡野 03-3818-0612
- ・田原市役所 田原市教育委員会 教育部 スポーツ課 担当 本多、水口 0531-23-3531

2017年12月6日

<開催概要>

- 期 日 平成30年9月15日(土)～22日(土)※現在予定
- 場 所 愛知県 田原市
- 主 催 INTERNATIONAL SURFING ASSOCIATION (国際サーフィン連盟)
- 過去実績 2017年ISA World Surfing Games(フランス ビアリッツ開催 2017年5月)
参加国:47か国
参加人数:245選手

2017年VISSLA ISA World Junior Surfing Championship
(宮崎県日向市開催 2017年9月)
参加国:41か国
参加人数:344選手
観客数:38,200人

※詳細は決まり次第、別途HPまたはプレスリリースにて発表させていただきます。

一般社団法人 日本サーフィン連盟 理事長 酒井厚志 コメント:

この度、ISA(国際サーフィン連盟)主催の世界サーフィン選手権が、愛知県田原市で開催されることとなりました。このISA World Surfing Gamesは、世界中のサーファー、サーフファンをはじめ他競技のアスリート、さまざまな人たちに、日本の波、美しさ、文化を見てもらう絶好の機会と考えております。

世界最高峰のサーファーを歓迎し、日本の波とホスピタリティを体験していただくことを楽しみにしています。また、2020年TOKYOから2年前に開催される当大会は、オリンピック競技でのサーフィンの先駆けとなり、当大会に出場した選手の中にサーフィン界初のオリンピックが必ず登場すると信じています。

最後になりましたが、本大会開催に当たり、多大なるご支援とご尽力を賜りました関係者各位に、重ねて敬意と感謝を申し上げます。

ISA President, Fernando Aguerre, said:

“We are excited to announced excellent locations for two of our major World Championships in 2018. Brazil and Japan are symbolic of the historic inclusion of Surfing in the Olympic Games, as the official vote by the IOC to include Surfing in the Olympic Sports Program took place in Brazil, and Japan will be where Surfing makes its Olympic debut at Tokyo 2020.

“We are expecting the world’s best surfers will be looking to get a leg up on their competition in riding the wave to Tokyo 2020. The momentum and anticipation around the surfing competitions in Tokyo is growing every day. Bringing our flagship event back to Japan just two years before the Games with surely add to that excitement.

“On top of this, bringing the ISA World SUP and Paddleboard Championship to Brazil, one of the world’s top Surfing and SUP markets, will provide a great opportunity for the growth and development of the sport. The Brazilian Minister of Sport, Leonardo Picciani, has given the event his blessing and full support to grow the sport of SUP and contribute to the economic development of the region.

“We have experienced great success for SUP with inclusion in major multisport events and will continue to lead SUP down the correct path with the goal of Olympic inclusion in the Paris 2024 Games.”